

〈統計ピックアップ〉

「平成30年住宅・土地統計調査」の実施について

(調査実施日:平成30年10月1日)



はいた〜い、9月になりました。朝、夕は少し涼しくなり、過ごしやすい季節となりましたね。

さて、皆さんは、「住宅・土地統計調査」についてご存知ですか。「住宅・土地統計調査」は、我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査となっており、10月1日を期日として実施されます。この調査は昭和23年から5年ごとに行われ、今回は15回目に当たります。

そこで今月号では、前回(平成25年)の調査結果から、主なデータをご紹介します。

では始めに、図1、2の「総住宅数及び総世帯数の推移」からみてみましょう。

図1:総住宅数及び総世帯数(沖縄県)

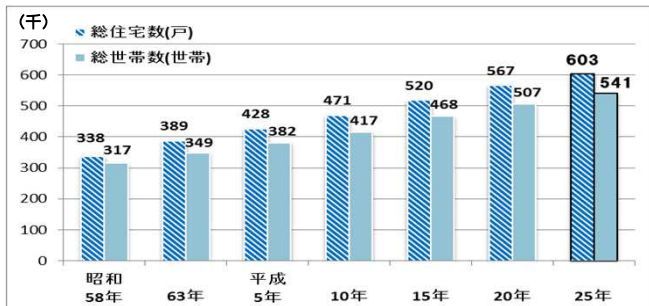
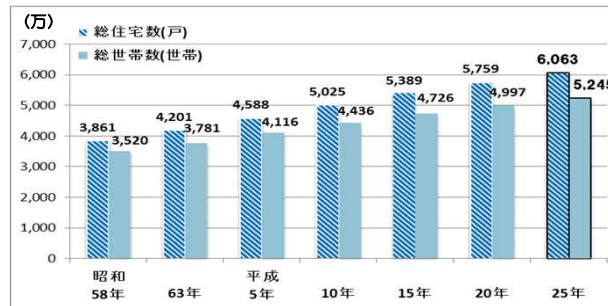


図2:総住宅数及び総世帯数(全国)



平成25年の沖縄県の総住宅数は602,800戸で、5年前に比べ6.4%増加しています。全国は6,063万戸で、5年前に比べ5.3%増加しており、沖縄県が1.1ポイント上回っています。

次に、平成25年の沖縄県の総世帯数は541,000世帯で、5年前に比べ6.8%増加しています。全国は5,245万世帯で、5年前に比べ5.0%増加しており、沖縄県が1.8ポイント上回っています。

沖縄県、全国どちらも、総住宅数が総世帯数を上回っている状況が続いていることがわかります。

次に、図3、4の「空き家数及び空き家率」の推移についてみてみましょう。

図3:空き家数及び空き家率(沖縄県)

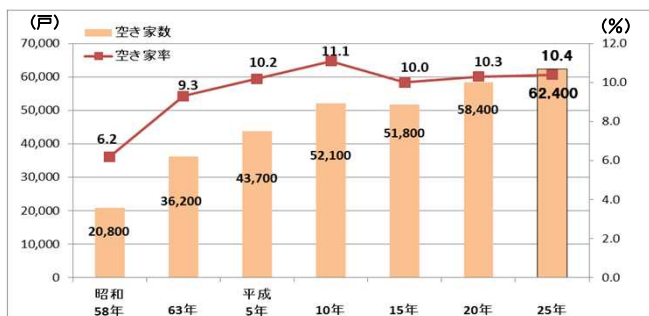
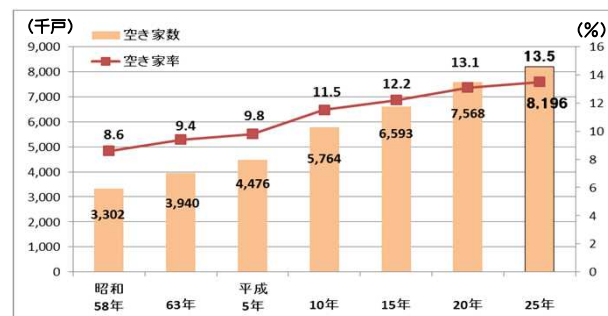


図4:空き家数及び空き家率(全国)



平成25年の沖縄県の空き家数は62,400戸で、5年前に比べ4,000戸増加しており、空き家率は10.4%で、0.1ポイント増加しています。全国の空き家数は8,196千戸、空き家率は13.5%で、平成25年の空き家数、空き家率は過去最高となっています。

表1:都道府県別空き家率(平成25年)

順位	都道府県名	平成25年
1	山梨県	22.0%
2	長野県	19.8%
3	和歌山県	18.1%
⋮	⋮	⋮
45	山形県	10.7%
46	沖縄県	10.4%
47	宮城県	9.4%

次に、表1の「都道府県別空き家率(平成25年)」をご覧ください。空き家率が最も高いのは山梨県で22.0%、次いで長野県(19.8%)、和歌山県(18.1%)となっています。一方、空き家率が最も低いのは宮城県で9.4%で、次いで沖縄県(10.4%)、山形県(10.7%)となっており、宮城県を除く全ての都道府県で空き家率は10%を上回っています。

主なデータについてご紹介しましたが、総務省統計局のウェブサイトではその他様々な調査結果を公表しています。ご興味のある方は、ウェブサイトをご覧ください。

今回実施される「住宅・土地統計調査」は、住生活基本法に基づいて作成される住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画、立案、評価等の基礎資料として利用される大切な統計調査です。

調査票の回答方法としては、

- ・パソコンやスマートフォン、タブレット端末等を利用したインターネットによる回答
- ・紙の調査票に記入し、調査員に提出または郵送により提出、いずれかを選択することができます。



調査の対象となる世帯の皆様には、調査へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。